

【学習目標/学習方法】

- ・自然の事物・現象に進んで関わる態度を育てる
- ・実験や観察などを行い、科学的に探求する能力の基礎を育てる。
- ・自然の事物・現象について理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。

1年	4月 物質の すがた 25h いろいろな物質 気体の発生と性質・状態変化・水溶液	5 6 7	8 夏休み	9 生物の世界 27h 身近な生物の観察 植物のなかま 動物のなかま	10 11 12 身近な物理現象 26h 光の性質 音の性質 力のはたらき	1 冬休み	2 3 大地の変化 27h 火山 地震 大地の変動 地層	学年 計105h
2年	4月 化学変化と分子・原子 34h 物質のなり立ち 化学変化 酸化・還元	5 6 7 質量保存 の法則 動・植物 の細胞	8 夏休み	9 10 11 12 つくりとはたらき 37h 植物のからだ 動物のからだ 刺激と反応	天気とその変化 33h 気象観測 雲のでき方と前線 日本の天気	1 冬休み	2 3 電気の世界 36h 静電気 電流の性質 電流と磁界	学年 計140h
3年	4月 化学変化とイオン 27h 水溶液とイオン 電池 酸・アルカリとイオン	5 6 7 生命の連続性 23h 成長と生殖 遺伝の規則性	8 夏休み	9 10 11 12 運動とエネルギー 31h 力の規則性 エネルギーと仕事	地球と宇宙 26h 宇宙の広がり 天体の動き、月と惑星	1 冬休み	2 3 地球と私たちの未来のために 33h 自然のなかの生物 環境 自然の恵みと災害 科学技術	学年 計140h

授業について		家庭学習について		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
* 授業開始前には、持ち物をそろえ準備をしておきましょう。 * 授業は教科書を中心に進めていきます。資料集は、参考資料として使います。 * 先生の説明や友達の発言を集中して聴きましょう。 * 実験・観察では、先生の指示に必ず従い、安全面に十分注意して取り組みましょう。 * 板書事項は、必ずノートを取り、課題に対しての自分の考えや解決の過程が一目でわかるようにしましょう。また、板書以外のこともメモをとりましょう。 * 課題に対して予想を立て、実験・観察結果からわかることを考える時間を大切にしましょう。 * 意見を出し合うことで、ともに理解を深めることができます。積極的に発言をしましょう。 * 疑問に思ったこと、わからなかったことは、その日のうちに質問などをして解決しましょう。		* 課題は必ずやりましょう。 * 復習を中心に行いましょう。 ・授業があった日は、その日のうちにノートなどの見返しをしましょう。 ・その日学習した理科用語や公式などは必ず覚えましょう。 ・授業で練習問題に取り組んだときは、もう一度解き直しをしましょう。		評価観点 自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
* 試験前にはこのように取り組もう * 実験や観察で、どのような結果が出て、どのような考察ができたかをまとめよう。 * 教科書やノートを使って、語句や公式、法則を復習し、覚えましょう。 * ノートやプリント、ワークで解いた問題をもう一度解きましょう。特に、1回目間違えたところは、解けるまで何回も解きましょう。				評価資料 ・授業での発言内容 ・定期考査・小テスト ・実験器具などの使い方のテスト ・レポートの内容・表現	・授業観察(発言内容) ・レポートや課題の内容・表現 ・定期考査・小テスト	・授業での様子 ・実験や観察における活動状況 ・ノート(プリント)・アンケートの記載内容 ・課題の提出状況とその内容